

目指す学校像	建学の精神「人間是宝」の理想を掲げ、校訓「今日学べ」を推進し、生徒一人一人の内在する可能性を開発するとともに、多様な人々と協働しながら時代の変化を乗り越え、社会に貢献できる人材を育成する。
--------	--

評価	A	高評価
	B	良好
	C	概ね良好
	D	要努力

重点目標	1 学習指導（学力の向上と、自ら課題を設定し、解決する方法を発想・実行する力の向上）
	2 生徒指導（担任による日常指導の徹底）
	3 特別活動（学校行事・部活動の充実）

学校関係者 23名
教職員 18名

* 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 * 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に応じた「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 （3月）			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> ICT教育を充実させ、協働学習型授業を推進させる 文武両立の進学校を目指し、日本の人材インフラ育成のための学習指導を充実させる 	<ul style="list-style-type: none"> ICT教育の工夫 教員の指導力の向上 基礎学力の向上 家庭学習の充実 検定試験の奨励 	<ul style="list-style-type: none"> iPadの活用 0時限、放課後演習 特別指導（通年・夏期） PDCA手帳の活用（学習時間の可視化） スタディサプリ 	<ul style="list-style-type: none"> iPadの活用に工夫が見られる授業展開 国公立大学・難関大学合格者数 大学入学共通テスト受験者数 英検などの検定試験の受験者数 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年全学級がiPadを用いた授業を行った。 国公立・大学校の合格者は33名であった。 共通テストは144名の受験者数であった。 英検877名・数検113名漢検160名の受験者数であった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度からは、Classi導入予定のため、付随する機能を有効活用する。 国公立50名・早慶上理30名、GMARCH60名の合格を目指す。 教員のさらなる指導力向上を目指す。
2	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を身につけることにより、高校生としての自覚を持たせる 社会的なマナーについて指導を徹底させ、社会に有意な人材を育成育成する 	<ul style="list-style-type: none"> きめ細やかな生徒指導 積極的な面談の実施 いじめの防止 いじめの早期発見、早期解決 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の生活習慣の把握 面談による生徒理解 悩み事の早期発見 あいさつの励行 学年と生徒指導部との連携、情報共有 問題行動の事前防止 スクールカウンセラーとの情報交換と協力 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の個別状況の把握 二者面談、三者面談の積極的な実施 アンケート等による早期発見、解決 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒との面談を実施。学習・生活面の状況を把握した。 家庭と情報を共有し、適切な指導を行った。 担任とのコミュニケーションを意識させ、悩みの早期発見を図った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 問題行動への初期対応期等を組織的に行う。 職員全員で対応し、各部署間での連携を密に行う必要がある。 カウンセラーと連携を取り合っていくことが大切である。
3	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ文化活動を通して、人間教育をより一層推進する 関東大会、全国大会に出場させる 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動加入率 関東大会、全国大会、国際大会出場 	<ul style="list-style-type: none"> ガイドラインに沿った適切なスポーツ文化活動の実施 強化指定部活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動加入率 関東大会、全国大会、国際大会出場部活動数 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動加入率は75.8%であった。 関東大会に11部、全国大会に11部、国際大会に3部が出場した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会をはじめとする生徒の主体的な活動や地域貢献を増やす。 学校行事を精査し、ひとつ一つの行事の内容の充実させる。

学校関係者評価	
実施日	令和6年3月15日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> 様々な進路に対応できる指導がされている。 学力の上昇、進学率の向上が高評価である。 	
<ul style="list-style-type: none"> 各学級担任、その他の先生方による指導がよくできている。 コロナ禍に学校に通うことができず、規範意識が薄くなったように感じるので、今後もきめ細やかな生徒指導を行ってほしい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒が活躍できる場を準備してもらっている。 生徒全員が参加できる活動・行事が戻ってきている。今後は、内容をコロナ前以上に充実することを期待している。 	